

まちづくりWEEK2025WINTER開催報告

Maebashi Ridgeline Community Engagement 2025 Winter Report

Overall_概要

12.9.2025
火曜日

ステークホルダーWS

参加者:9名

地元まちづくり会議

参加者:18名

2025WINTER

まちづくり
WEEK
参加者
計121名

12.10.2025
水曜日

ステークホルダーWS

参加者:23名

12.13.2025
土曜日

子どもまちづくり会議

参加者:12名

地元まちづくり会議

参加者:21名

12.14.2025
日曜日

地元まちづくり会議

参加者:38名



まちづくりWEEK 2025WINTER概要

2025年12月に計4日間の日程で催された。

第2回まちづくりWEEKは、ステークホルダーワークショップ、オープンハウス型地元まちづくり会議、そして小学生を招いての子どもまちづくり会議の3種類の形態で運営した。

ワークショップは、

- ・テーマ1:これまでのまちづくりから前橋クリエイティブシティへ
- ・テーマ2:前橋リッジライン_前橋リッジライン計画の骨格と特徴
- ・テーマ3:前橋リッジライン_前橋の新しい公共空間デザイン

以上の3つのテーマに分けて、計25枚のボード展示形式と、計画地周辺の1/200の計画模型および県民広場と五差路デザインに関連したワークテーブルを設け、前回のまちづくりWEEKでの地元の声がどのように前橋リッジライン計画に反映されているか、またそれぞれの公共空間の使い方、要望や懸念等、地元の皆さんの声を集めた。



+ まちづくりWEEK当日の様子

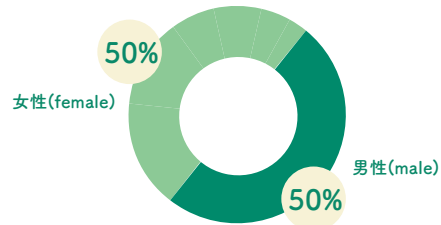
まちづくりWEEK2025WINTER開催報告

Maebashi Ridgeline Community Engagement 2025 Winter Report

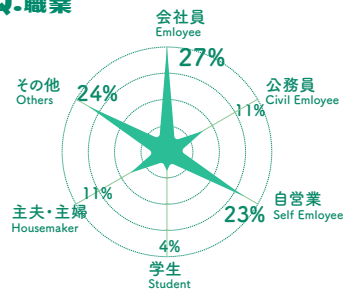
Overall_概要

参加者プロフィール

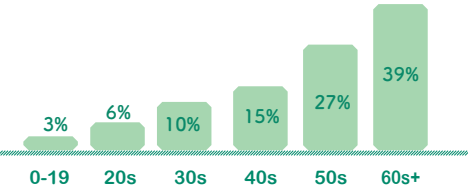
Q.性別



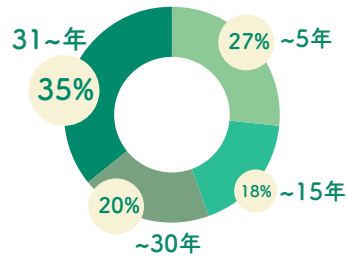
Q.職業



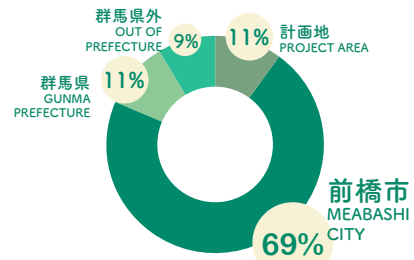
Q.私の年齢は?



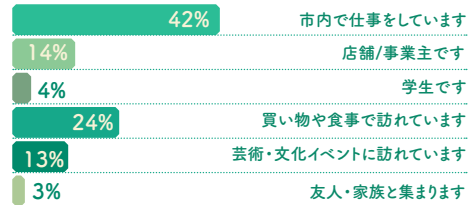
Q.前橋に住んで...



Q.居住地域は?



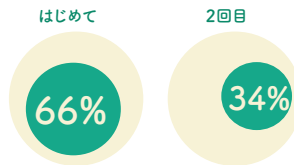
Q.こちらへの目的は?



Q.本日のここの移動手段は?



Q.まちづくり会議への参加は...



“前橋リッジラインらしさ”をつくるための“要素”への声

まち_City

移動の利便性の向上
Enhance the comfort of travel

- 街中に住む人、街の周りに住む人、両方の目線で街づくりをしてほしい
- 車に頼らないまちづくりだが、大胡に住んでいる者としては、車以外の移動は現状考えられず、前橋全体の広域で交通システムを考えてほしい
- 公共交通は5分以上は待ちたくない
- 自動運転/シェアリングが移動手段の中心となっていくと良い

ひとびと_People

にぎわいのあるまち
Vibrant Community

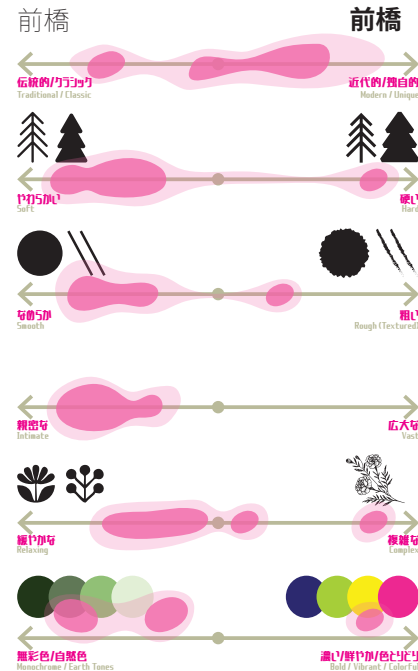
- 「遊び心」が入っていて前橋らしい。ただ、子どもの視点が強くと、大人も楽しめるように、例えば「学び」のような要素を入れては?
- 元気21の施設内遊具から県庁前まで遊具を設置すれば一日中遊べて楽しそう
- 道路のライトアップを充実させると良い

自然_Nature

質の高い緑の環境
High-quality green environment

- 地表の材料で暑さ対策を
- 落ち葉処理が大変
- 暑さ対策-風鈴設置やスプリンクラーで打ち水
- 冬場の強い風対策が必要

Q. 2040年の前橋のまちを考えたとき、それぞれに共感するスタイルを教えてください。



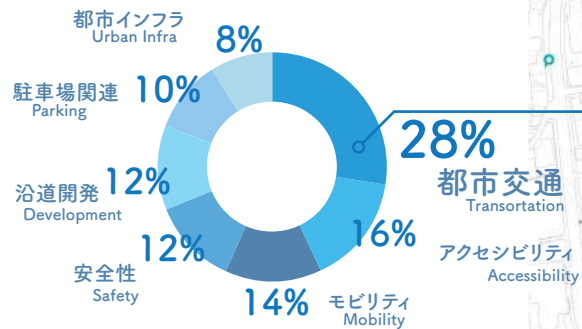
参加者の声

- プロジェクトの広報活動のさらなる推進を願う。ワークショップのまとめを次回のワークショップの前に地元市民とシェアして欲しい
- ハード整備だけでなく、人のながれのデザインも必要
- 観光分野との連携や持続可能なまちの形成について考える必要がある
- 昔の水路の活用、城下町のなごりも面白い
- 楽しそう!色々な活気が湧いてきそう!
- 高齢者に優しいまちづくりと、ファミリーや若者が集まるまちにしたい
- 沿道住民の交通の便が悪くなりそう
- トランジットモールになることで、沿道敷地の資産価値が減少するのでは?
- ビジョンが前橋以外でも通用しそう
- 基本原則にある多様性の具体化が必要
- 将来的なモビリティもいいが、説明を聞きながら前橋市内巡りを楽しめる「人力車」を使っています?

前橋リッジラインの道路空間デザイン

まちづくり会議で聞いた人々の関心事項

まち/モビリティ_CITY/Mobility



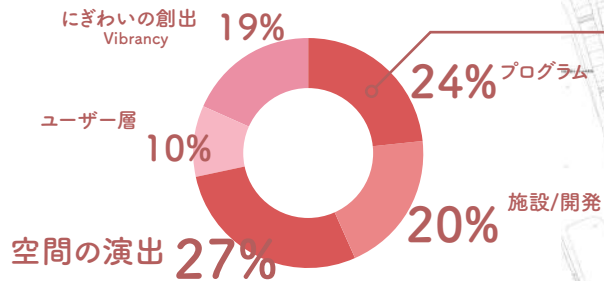
【期待】

- 車と歩行者のバランスが良い歩道空間への高い評価
- バスなどの公共交通の利便性の向上
- お年寄りから子供まで、「歩きやすさ」「バリアフリー」への配慮

【懸念】

- 自転車・バスなど二次交通の使いづらさ、分かりにくさ、連絡性の悪さの改善が必要
- 市外や観光客からの目線の弱さ

にぎわい/人々_Vibrancy/People



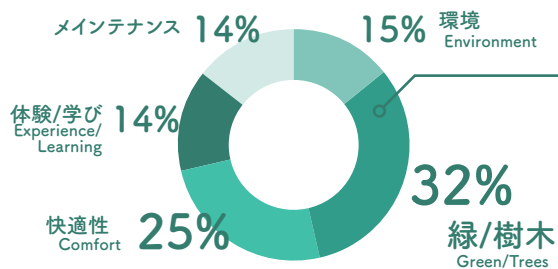
【期待】

- 駅前が「目的地」になること
- 既存資源を活かしたにぎわい創出
- 人が滞在し、過ごせる空間
- 温泉・文化など、前橋らしさを活かしたプロジェクトの今後の展開

【懸念】

- 「行く理由」が決定的に不足している
- 商業・飲食・買物機能の不足
- 若者が定着しない構造への改善

環境/自然_Environment/Nature



【期待】

- 自然を「育て・循環させる」仕組み
- 子ども・市民が関われる自然空間
- シンボルとなる緑・自然景観
- 生態系・生き物と共存する環境

【懸念】

- 樹木の老朽化と安全性
- 落ち葉・根による生活・利用への支障
- 管理のしやすさへの強い問題意識
- 環境条件の厳しさ(風・暑さ)



前橋リッジラインの道路空間デザイン

まち/モビリティ_CITY/Mobility

地元の“まち”要素への理解

【役割】

都市の仕組みを理解し、移動し、安全に使える状態をつくる
日常・観光・非常時を支える骨格

【主要要素】

- 交通 (駅前、バス、動線、分かりやすさ)
- モビリティ (歩行・自転車・回遊)
- インフラ (水、電気、防災)

【課題/ゴール】

「住民も訪問者も、安全に迷わず過ごせるまちのシステム」

今回の会議で進捗を見てあらためて感じるどころ

1. 都市交通

- ・ バスを中心とした公共交通の骨格は機能しそう
- ・ 駅前/市街地/公共施設を結ぶ基本動線は機能している
- ・ バス乗り場の位置が遠い・分かりにくい
- ・ 初来訪者にとって交通体系が分かりにくい (現況)

2. アクセシビリティ

- ・ 5差路のスロープ整備による高齢者・子ども・ベビーカー利用者 への配慮を評価
- ・ 5差路付近でのエレベーター設置への期待
- ・ 交差点での動線の連続性が不十分で、利用しにくい
- ・ 一部で段差・到達困難な箇所が残っている

3. モビリティ (Mobility: 移動の選択肢)

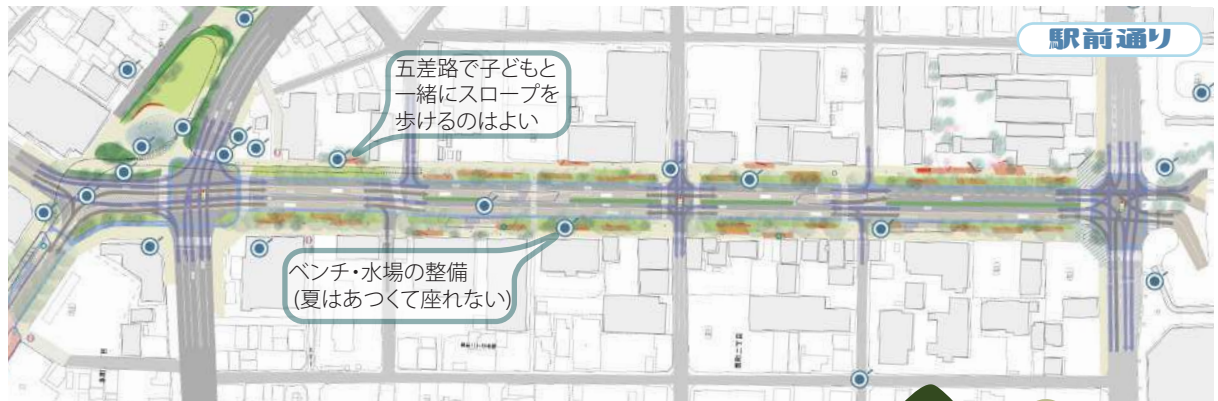
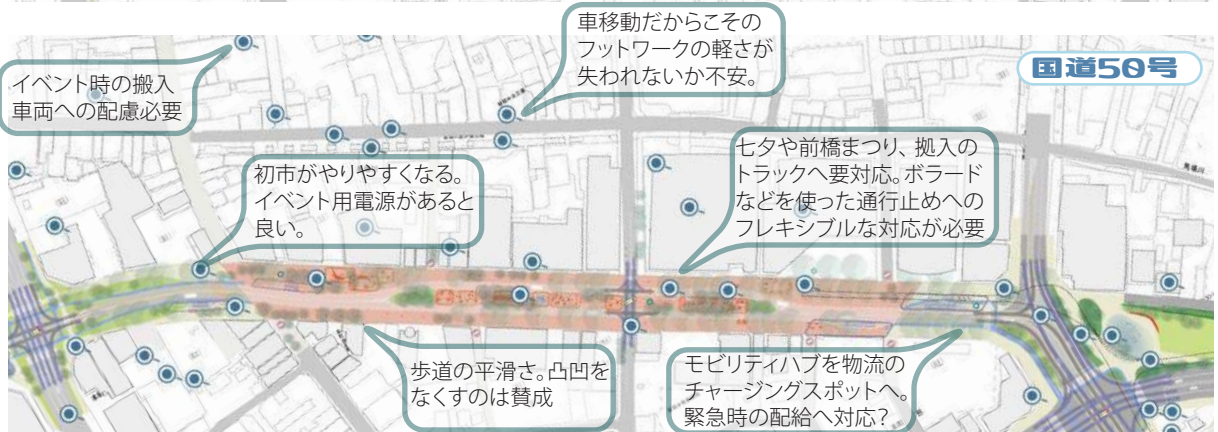
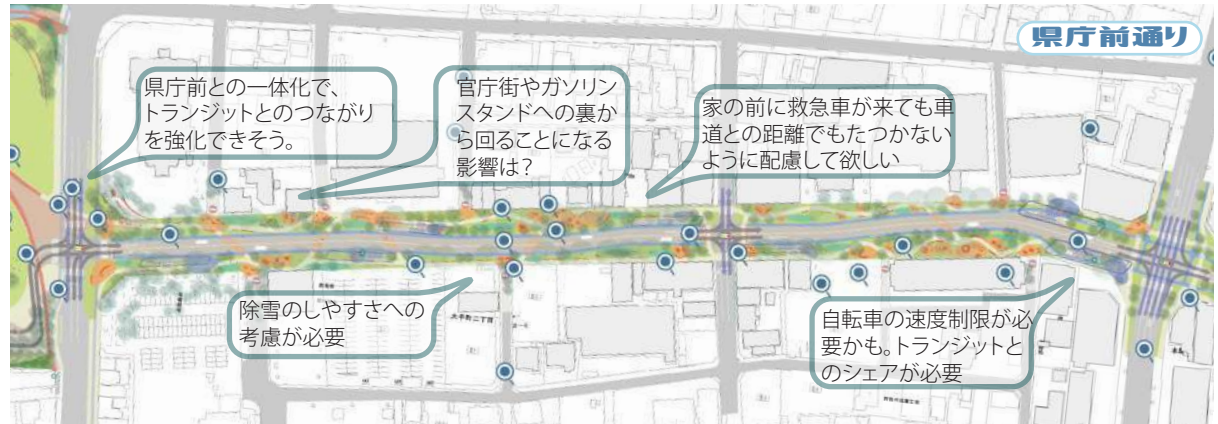
- ・ 徒歩+公共交通の組み合わせは一定の評価
- ・ 歩行による回遊性の有効性が高い
- ・ シェアサイクルが市外・観光客には使い難い
- ・ レンタルサイクルの拠点不足 (ハブ単位での配置要望)
- ・ 二次交通が来訪者目線で設計されていない
- ・ 駐車需要は現状の規模でも対応可能かもしれない

4. 安全性/利便性 (Safety)

- ・ 車が少ない通りは歩行者の安心感が高い
- ・ 子ども連れでも歩きやすいという評価
- ・ 災害拠点としての活用可能性への評価
- ・ 強風や環境条件により、歩行時の不安が生じる場所も
- ・ 歩道橋など立体動線の安全性・使いやすさに課題
- ・ 一部エリアでの渋滞の悪化への懸念
- ・ 駐車場の使い勝手に不満 (無料化・運用改善要望)

5. 沿道開発 (Roadside Development)

- ・ 歩行者中心の通りと、都市空間としての質への高評価
- ・ ベンチや水場など、滞留を促す要素の不足
- ・ 水・電気などを活用した災害拠点機能への期待
- ・ インフラの価値が“見える化”されていない



前橋リッジラインの道路空間デザイン

にぎわい/人々_Vibrancy/People

地元の“にぎわい”要素への理解

【役割】

人が集まり、関係が生まれ、記憶が残る都市に“理由”と“物語”を与える

【主要要素】

- イベント・マーケット・出店
- にぎわい・交流・偶発性
- ターゲット(子ども、家族、若者など)

【課題/ゴール】

常設より可変・チャレンジ型への期待
にぎわいは「つくる」より「起きる」
「また来たい理由が、ここにあるか？」

今回の会議で進捗を見てあらためて感じるどころ

1. 空間の演出(雰囲気・居心地・見え方)

- ・ 駅前が殺風景で、楽しい雰囲気がない
- ・ 歩きたくなる・居たくなる空間になっていない
- ・ 風が強い、暑くて快適に使えない時期が長い
- ・ “通過するだけ”の場所にならないか

2. プログラム(使い方・活動・コンテンツ)

- ・ イベントや活動があれば使われるのではない
- ・ 広場があっても、過ごす目的がないと行かない
- ・ 温泉パークなど、明確なテーマ性のある使い方の提案を
- ・ “何ができるか”=プログラムの不足が課題
- ・ 道沿に手洗い場やチャージングステーション等が欲しい

3. 施設・開発(建物・拠点・物理的整備)

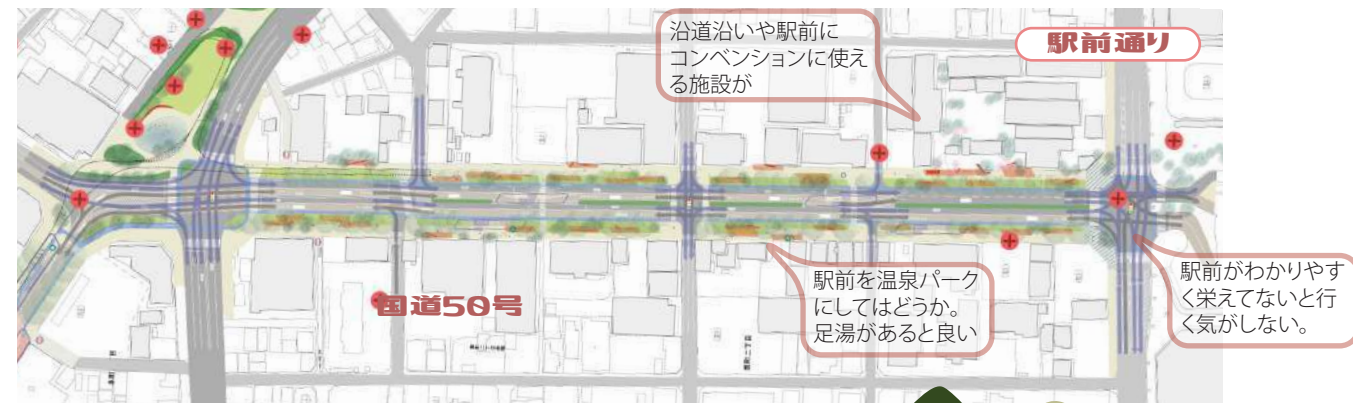
- ・ 沿道にコンベンション施設などが出来ると良いのでは
- ・ 新しいものを作るだけでは成功しない
- ・ 駅が小さく、買物や滞在機能が不足している
- ・ 集積・連鎖・目的性が欠けていることが問題

4. 賑わいの創出(人の流れ・滞在・集積)

- ・ 人が留まらない、滞在しない
- ・ 商店・飲食の集積がなく、回遊が生まれない
- ・ 駅前が分かりやすく栄えていないと行く気がしない
- ・ 行こうと思う理由がなければ行かないし歩かない。

5. ユーザー層(誰が使うのか)

- ・ 高校生・大学生の居場所がない
- ・ 若者は高崎や大型商業施設へ流れている
- ・ 日常的に使う人(飲食・買物)の不在



前橋リッジラインの道路空間デザイン

環境/自然 Environment/Nature

地元の“環境”要素への理解

【役割】

都市の「余白」「呼吸」と同時にまちを“きれい”にする
何もなくても“居ていい”状態をつくる環境がここちよい

【主要要素】

緑・木・自然環境

日陰・風・暑さ対策などの環境快適性

【課題/ゴール】

自然は「見せるもの」ではなく使われる前提条件
快適でなければ、どんな広場・イベントも機能しない

今回の会議で進捗を見てあらためて感じる

1. 緑/樹木:

- ケヤキは50年間役割を果たしてきており、必要な植え替えをこの機会に検討してはどうか
- 住民からは今後もケヤキを保存してほしいとの声
- ケヤキに加え、新たなシンボルツリーの提案
 - ①花が咲く木、実のなる木
 - ②ミツバチが集まるような樹種
- 単なる街路樹ではなく、象徴性のある緑をつくりたい
- 「量」より「意味のある緑」が求められている

2. 快適性(利用しやすさ・安全性)

- 樹木の根が自転車通行を妨げている
- 側溝にまで根が入り、今後の工事への支障の懸念
- 落ち葉が多く、日常利用の負担になっている
- 自然×日常利用のバランスが課題

3. 環境(循環・生態系・資源活用)

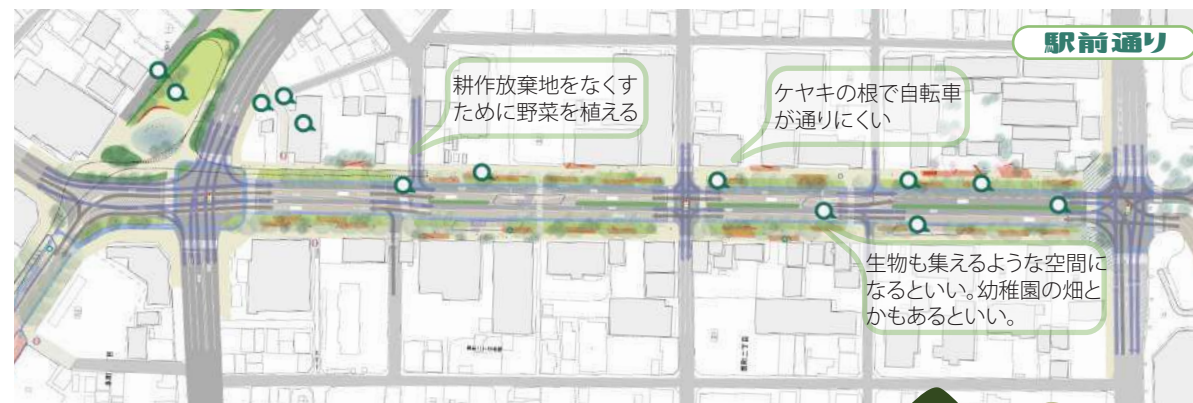
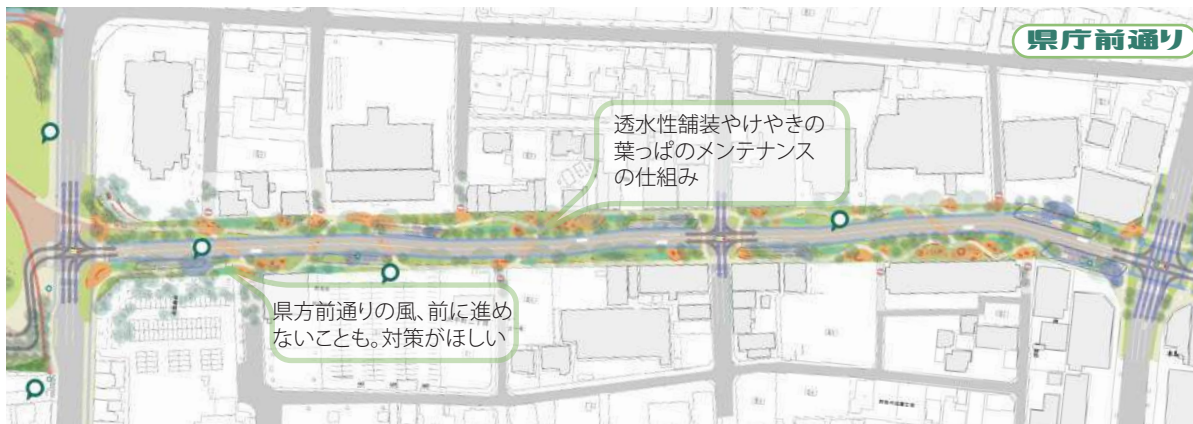
- 落ち葉を肥料や家畜の寝床として再利用したい
- 伐採した木を販売し、植樹費用に充てる
- 生物が集える空間への期待
- 都市の中での小さな生態系づくりへの強い関心

4. 体験/学び

- 学校で配られるアサガオの種を使った植栽
- 子ども・大人が参加する公共空間での野菜づくりで耕作放棄地をなくすための啓蒙活動を
- 幼稚園の畑など、教育・体験の場としての自然
- 自然を「眺める景観」から、参加し、学び、関われる場へ

5. メンテナンス(管理・コスト・持続性)

- 植樹する木は管理が容易なものにすべき
- 安全性・管理費を考慮した樹種選定が必要
- 老朽化した樹木のメンテナンスが負担になっている



五差路のアクティビティについて



現在の五差路交差点の計画について、あらかじめご用意した下記のQ1-Q2の質問に基づき、参加者の皆さまにご回答いただきました。

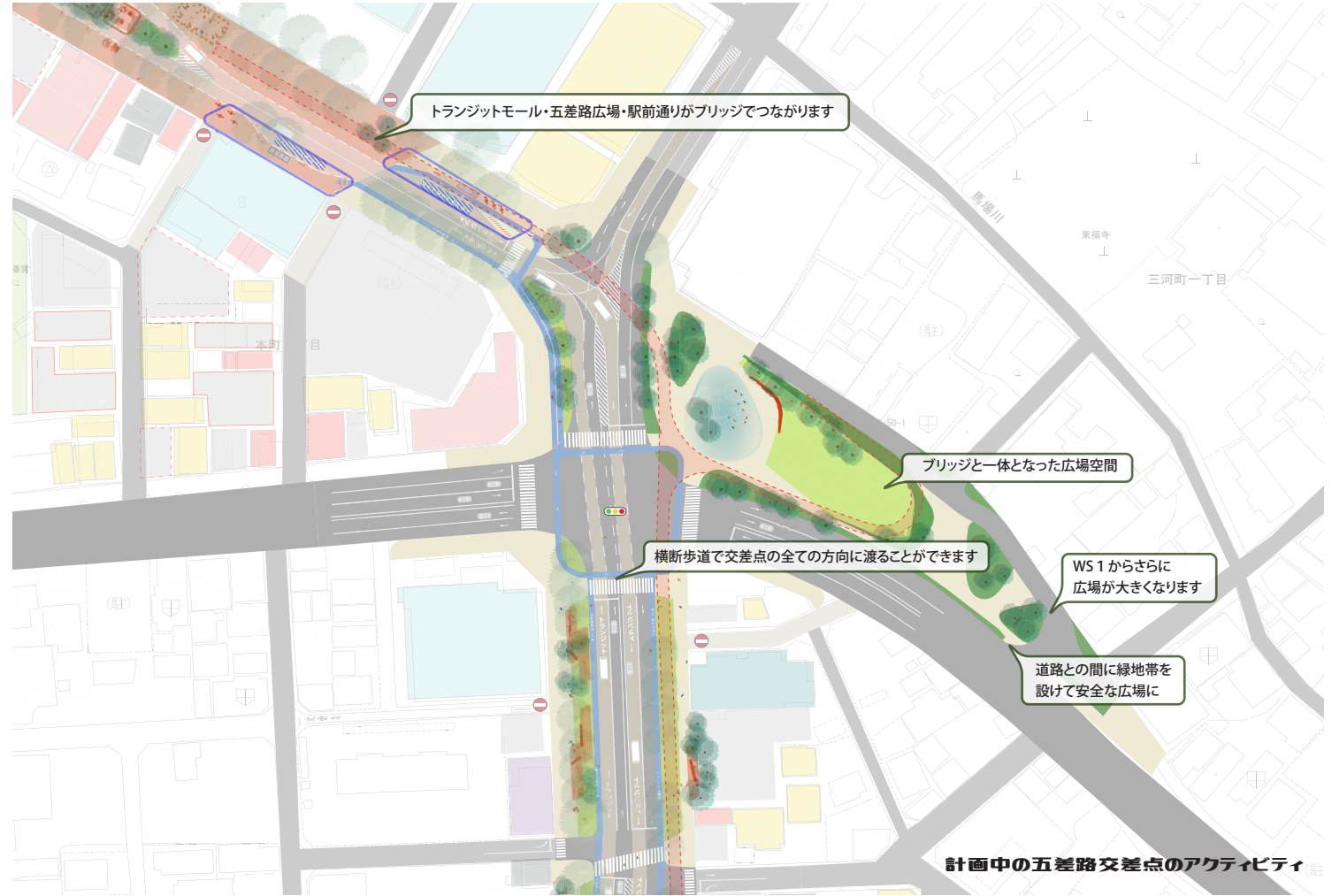
Q1.現在の五差路歩道橋を使うときは何のためにどんな時ですか？(歩行者目線で)

① 信号が赤で渡れない時

② 横断歩道がない箇所を渡りたい時

③ より安全に渡りたいから

④ 使わない(迂回する)



Q2.さらにどんな「体験」ができればより良い空間になると思いますか？

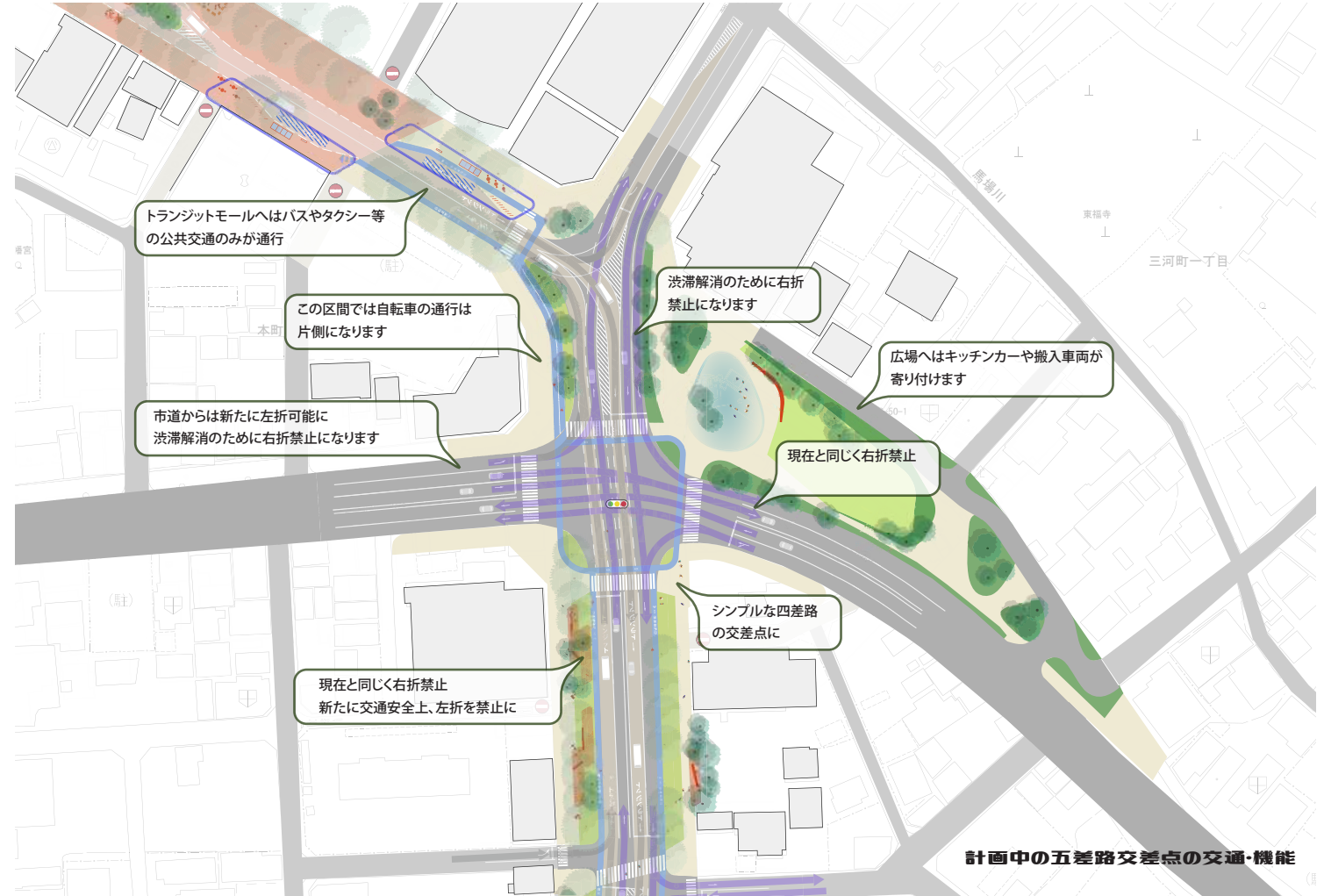


五差路の交通・機能について



現在の五差路交差点

現況の五差路交差点の計画について、あらかじめご用意した下記のQ1-Q3の質問に基づき、参加者の皆さまにご回答いただきました。



計画中の五差路交差点の交通・機能

Q1. 現在の五差路交差点で 分かりにくいと思う点は何ですか？(車目線で)

① 交差点の形状

② 路面の表示

③ 路面の標識

④ 信号の位置

Q2. 交差点の形状・右左折が計画のように変われば 現状より使いやすくなる、分かりやすくなると思いますか？

Yes

No

Q3. さらにどんな「機能」ができれば より良い空間になるとと思いますか？



前橋リッジラインの五差路の使い方

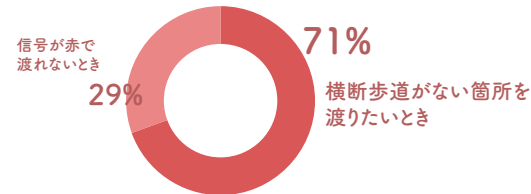
五差路のアクティビティについて



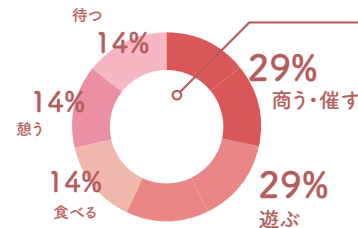
五差路の交通・機能について



Q1.現在の五差路歩道橋を使うときは何のためにどんな時ですか？(歩行者目線で)



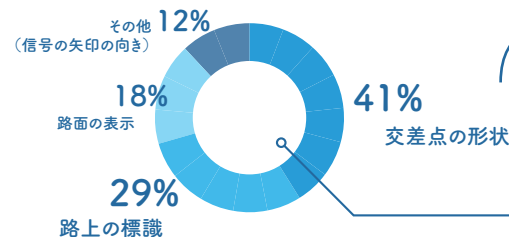
Q2.さらにどんな「体験」ができればより良い空間になると感じますか？



具体的なコメント

- ・大きな広場ができることで活動や遊びの場が増えるのはいい。
- ・『イベントも開催できる設え、雰囲気』と、『日常的に憩える心地よさ』の両立。自然と人が集まる広場に。
- ・催しと合わせて季節感を感じられる広場を。
(春→花見、夏→花火鑑賞、冬→広場でスケート etc.)
- ・まちなかの災害拠点としても使えるといい。
- ・五差路の記憶の継承
(街を体験する、学ぶ場所としての交通公園 etc.)
- ・周辺への配慮も必要。音や光の問題を考慮してイベントの内容を変えられるとよい。
(音響や照明を使うイベントは県民広場へ、など)
- ・公共の公園になれば、管理されたゴミ箱も設置できるようになり、まちなかやイベント時のポイ捨て対策にもなる。
- ・緑はありつつも、死角によって安全性を損なわないように。

Q1.現在の五差路交差点で分かりにくいと思う点は何か？(車目線で)



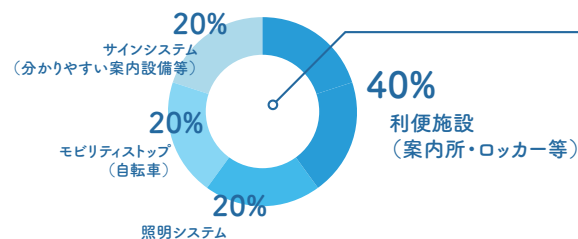
Q2.交差点の形状・右左折が計画のように変われば現状より使いやすくなる、分かりやすくなると思いますか？



具体的なコメント

- ・計画案では分かりやすくなり、渋滞も減るかも。
- ・地元住民・来街者、どちらに対しても交通規制のわかりやすい案内は必要。現状では迷っている人もいます。
- ・道路のカーブの曲率がきつところは注意喚起やスピードが落ちるような工夫が必要。
- ・サインシステムで事前に渋滞情報が分かれば、混雑解消できそう。
- ・行動経済学などの考え方を交通渋滞にも反映できるのでは。
(混んでいる場所を自然にさける etc.)

Q3.さらにどんな「機能」ができればより良い空間になると感じますか？



前橋リッジラインの五差路の使い方

五差路に求められる体験や機能について



活動



key word:

- ・イベント時の使いやすさ
- ・日常の使いやすさ

大事だと思った理由:

- ・駅から商店街までの間に遊べる場があれば距離が短く感じる。
- ・歩いてもらう仕掛けとして、活動のできる場を。キッチンカーの乗り入れを可能にして食べる場所などに。

その他コメントと課題:

- ・市街地に学校が増えるので登下校時に安全に使えるといい。
- ・季節やイベントに応じてレイアウトが変化する等の工夫ができるか。
- ・ただの移動のためではなく、「体験のためのブリッジ」と言い切った方がより説得力がある。

移動



key word:

- ・目的地への利便性
- ・周辺とのつながり

大事だと思った理由:

- ・子供、高齢者と一緒に安全に移動できることがよい。
- ・移動の際の快適性。ブリッジの下も屋根として活用できる。
- ・最短経路のスロープは信号待ちもなく時間の節約にもなる。

その他コメントと課題:

- ・登りやすい、登りたくなるステップ、スロープにしてほしい。
- ・現状の歩道橋は暗くて怖い。防犯性にも配慮したブリッジに。
- ・バリアフリーの観点ではエレベータの要否検討が必要。

眺望



key word:

- ・周辺への眺め
- ・周辺からのシンボル性

大事だと思った理由:

- ・景色が良いと登りたくなる。移動中に眺めの良い休憩場所が必要。
- ・前橋駅前から望めるアイコン。駅から降りた景色は一番強い街のイメージとなると思うので、特徴的な形であることは重要。

その他コメントと課題:

- ・朝日、夕焼けのビューポイントとしても。
- ・ブリッジを見上げた時のデザインを土木的なデザインとならないように、かっこよくできるとよい。
- ・ブリッジ自体もライトアップできるとよい。

県民広場のアクティビティについて



現在の県民広場の計画について、あらかじめご用意した下記のQ1-Q2の質問に基づき、参加者の皆さまにご回答いただきました。

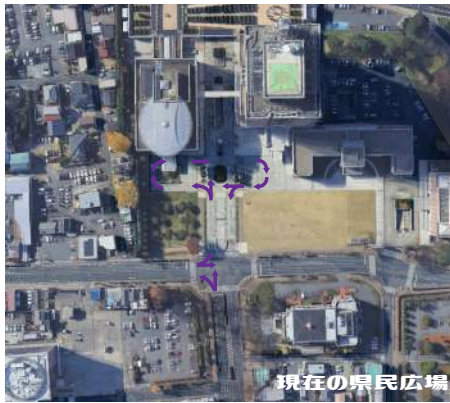
Q1.現在の県民広場を使うときは何のためにどんな時ですか？(歩行者目線で)

- ① 県庁での用事や仕事の合間の休憩
- ② バスやタクシーを待つ時
- ③ イベントが開催されている時
- ④ 使わない(通り過ぎる)

Q2.さらにどんな「体験」ができればより良い空間になると思いますか？



県民広場の交通・機能について



現況の県民広場の計画について、あらかじめご用意した下記のQ1-Q3の質問に基づき、参加者の皆さまにご回答いただきました。

Q1.現在の県民広場や県庁周辺で分かりにくいと思う点は何ですか？(車目線で)

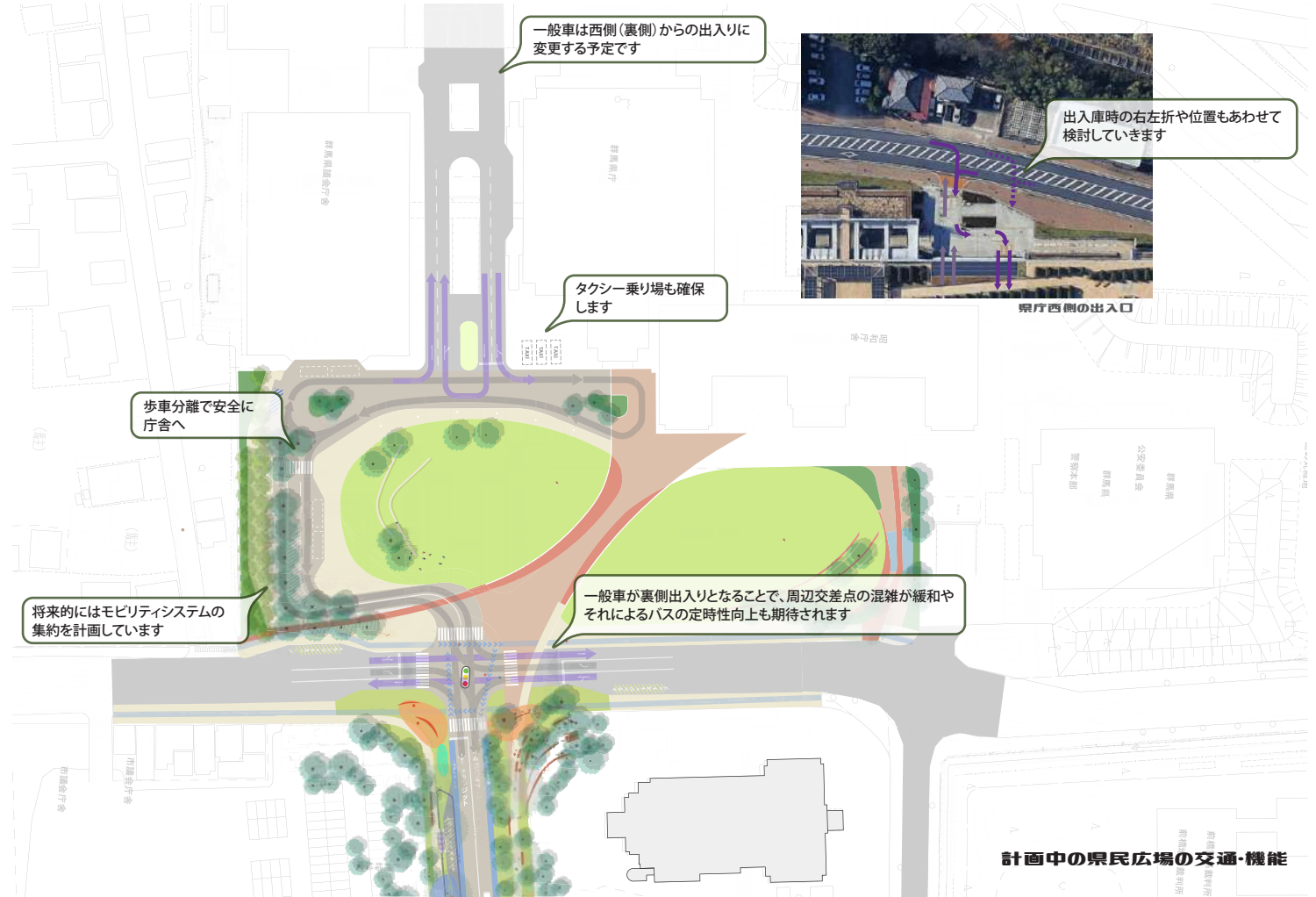
- ① 駐車場の位置とそのルート
- ② 敷地内での通行ルートと出入口
- ③ タクシー乗り場の位置
- ④ バス停の位置(広場前の道路部分)

Q2.県民広場の形状・右左折が計画のように変われば現状より使いやすくなる、分かりやすくなると思いますか？

Yes

No

Q3.さらにどんな「機能」ができればより良い空間になると思いますか？

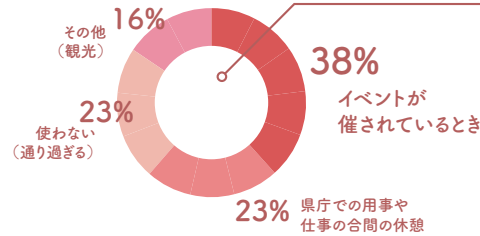


前橋リッジラインの県民広場の使い方

県民広場のアクティビティについて



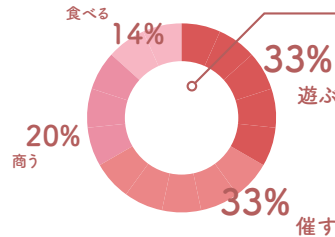
Q1.現在の県民広場を使うときは何のためにどんな時ですか？(歩行者目線で)



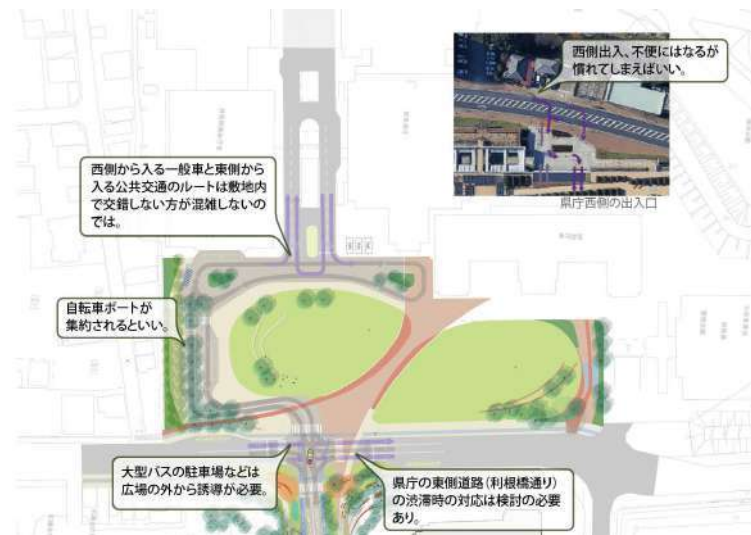
具体的なコメント

- ・催しごとに使い方や使う範囲を変えられるといい。(イベント、社会科見学、ぐんまちゃん関係 etc.)
- ・「風の少ない広場」というだけで人が集まるのでは。
- ・座れる場所が欲しい。(ベンチに座りたい人もいる)
- ・緑陰が増えると日差しを避けられる場所が増えていい。
- ・広場の活動がしみだすとトランジットモールとのつながりを強化できそう。
- ・現状で行かない理由＝「県庁だから」＝広場として使ってもいいかもわからない。誰でも使ってもいい雰囲気を出せると良い。
- ・トイレや店舗、物販スペースを設けてはどうか。
- ・県庁に1番多く、長く滞在する職員さんの役に立つ場所があると良い。スーパー・ドラッグストア的な日常のものを扱っている場所。
- ・市役所の駐車場も含めて一体で使えるといい。

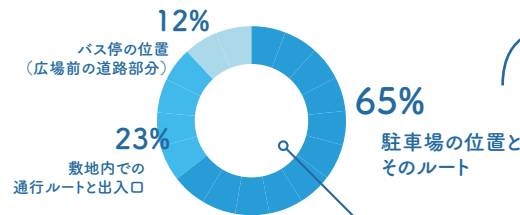
Q2.さらにどんな「体験」ができればより良い空間になると感じますか？



県民広場の交通・機能について



Q1.現在の県民広場や県庁周辺で分かりにくいと思う点は何ですか？(車目線で)



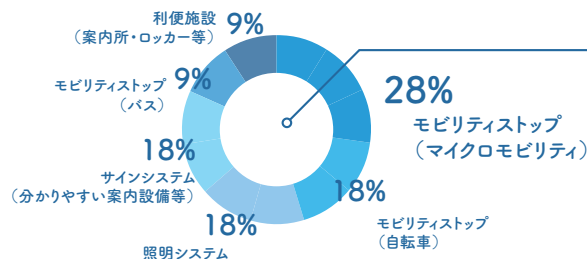
Q2.県民広場の形状・出入口が計画のように変われば現状より使いやすくなる、分かりやすくなると思いますか？



具体的なコメント

- ・県庁裏からの西側出入は不便にはなるが慣れてしまえばいい。
- ・県庁の東側道路(利根橋通り)の渋滞時の対応は検討の必要あり。
- ・西側から入る一般車と東側から入る公共交通のルートは敷地内で交錯しない方が混雑しないのでは。
- ・今は県庁前のバス停数も多く、どのバスがどの方面に行くかわかりにくい。
- ・自転車ポートが集約されるといい。
- ・大型バスの駐車場などは広場の外から誘導が必要。

Q3.さらにどんな「機能」ができればより良い空間になると感じますか？



前橋リッジラインの県民広場の使い方

県民広場に求められる体験や機能について



活動



ニューイヤー駅伝開催時は
ゴールの瞬間を見届けることができる

“劇場の客席のような”段々席

おおらかな傾斜に囲われた
“スタジアムのような”広場

key word:

- ・イベント時の使いやすさ
- ・日常の使いやすさ

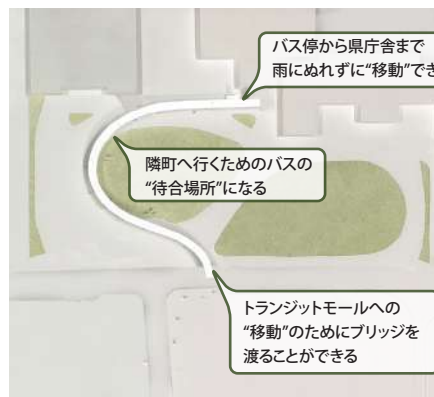
大事だと思った理由:

- ・イベントに参加した時の体験が良かった。もっと開催してほしい。
- ・外でもごはんを食べられる場所がほしい。
- ・起伏を活かして子供の遊び場や野外劇場ができそう。

その他コメントと課題:

- ・ブリッジに電気、水道などイベント時のインフラがあるといい。
- ・実用性は大切。ただそれだけだと温かみが足りないなので、憩いや癒やしの要素も必要。
- ・平坦な場所はイベントで使いやすい。空間のおおらかさも大事に。

移動



バス停から県庁舎まで
雨にぬれずに“移動”できる

隣町へ行くためのバスの
“待合場所”になる

トランジットモールへの
“移動”のためにブリッジを
渡ることができる

key word:

- ・目的地への利便性
- ・周辺とのつながり

大事だと思った理由:

- ・歩行者の安全性(特に高齢者)、信号に関係なく渡れるとよい。
- ・通りによる分断の解消。県庁とトランジットモールにつながりを。
- ・この場所がまちなかへの始点になると思った。

その他コメントと課題:

- ・車イス移動の際、傾斜や距離に配慮してほしい。
- ・移動の際に風よけ対策ができるとよい(北風)。
- ・サイン、案内、地面にマークするなど誘導性も合わせて必要。

眺望



変わりゆく前橋の街並みを望み
前橋の未来を“展望”する

遠くからも“望める”特徴的なアイコン

広場でのイベントや
山々の稜線を見渡す“視点場”

key word:

- ・周辺への眺め
- ・周辺からのシンボル性

大事だと思った理由:

- ・県庁や昭和庁舎を活かした景観の良さを再認識できるとよい。
- ・イベント時のロケーションの重要性
(県庁、昭和庁舎をバックにステージを設置していたイベントが良かった)

その他コメントと課題:

- ・“移動”のどこかに“眺望”のスペースを設けることもできるのでは。
- ・ケヤキ並木のイルミネーションへの眺めも魅力になる。
- ・「ココに行ったらおもしろい」と見た目でも思える場所に。

こどもまちづくり会議：前橋の次世代の声

2025年12月13日に前橋プラザ元気21のにぎわいホールにて、地元の小学生中高学年を招いてプロジェクトの紹介と県民広場、5差路周辺そして国道50号付近を中心とした3つの課題エリアについて、写真を使った関心事項のアンケート、スケッチや工作を通して、将来に向けた柔軟なアイデアを自分のプロジェクトとして考えいながら、声を集めた。

Q.トランジットモールにあつたらいいなと思うものは？

便利な道



小型シャトル
EV充電スポット
サイクルステーション
共用カー
駐輪場

遊ぶ道



憩いの場
食べる
学ぶ
青空劇場
駐輪場

育てる道



緑のカーペット
まちの花畑
地元の緑
まちの垣根
線形にのびる緑

Q.前橋リッジラインでしてみたいことは？

道路空間

- ・自然を見ながら歩けるようにしたい
- ・ターザンロープや滑り台、砂場などがあると良い
- ・バス停に充電器が欲しい
- ・安全なアスレチックが欲しい
- ・動く歩道(ベルトコンベア)ー子供からお年寄りまで、歩きやすいまちにしたい
- ・足湯や食べ物屋、水族館などができると良い
- ・川や池で遊べる場所が欲しい
- ・季節にあった花が咲くと良い
- ・バス停に夏はエアコン、冬は暖房があると良い
- ・物品交換会ができると良い
- ・水の音が聞けると良い
- ・バスが何台も走っていつでも乗れると良い
- ・キッチンカーがあると良い
- ・噴水広場ができると良い
- ・水飲み場が欲しい
- ・リサイクルボックスを設置してポイントが貯まる仕組みがあると良い
- ・リヤカーに乗って引っ張ってもら(移動できる)ようになるとうと良い
- ・遊べる道、遊べる広場、ブランコ、滑り台?楽しそう
- ・学校帰りに寄り道したくなる場所が欲しい

県民広場

- ・木の間でブランコができるようになると良い
- ・お店があると良い
- ・緑と自然を大切にしていきたい
- ・スポーツ(サッカー、バスケ)ができる場所になると良い

五差路

- ・ブリッジが怪獣が降り立ったみたいで面白い



まちづくりWEEK2025WINTER開催報告

Maebashi Ridgeline Community Engagement 2025 Winter Report

プロジェクト模型&パネル展示会

2025年12月9日から14日にかけて催された“まちづくりWEEK”の後、引き続きのプロジェクト周知とご意見を募るため、以下のスケジュールで模型とパネル展示を行った。

- ① 県庁1F南ホール: 1/5(月)~1/13(火)
- ② まちなかサロン: 1/19(月)~1/24(土)
- ③ 前橋プラザ元気21 3Fホワイエ: 2/1(日)~2/19(木)

多くの方にお立ち寄り頂き、72名の地元住民の方にアンケートへお答え頂いた。



① 県庁1F南ホール



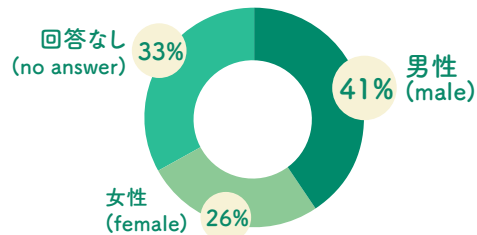
② まちなかサロン



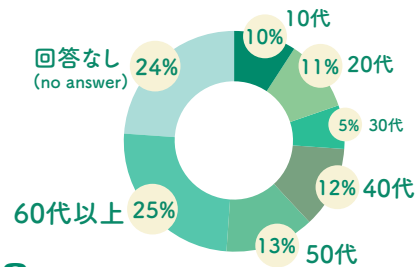
③ 元気21-ホワイエ

参加者プロフィール

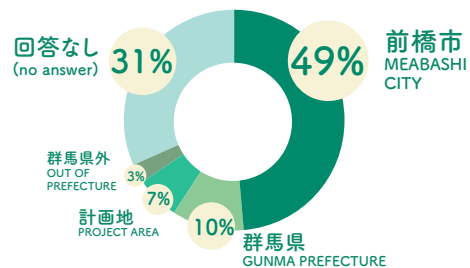
Q.性別



Q.私の年齢は?



Q.居住地域は?



Q.「あなたの声がかこれからの前橋をつくります。」

2040年を見つめて!本プロジェクトに対するご意見等を、ぜひご記載ください!

まち_City

移動の利便性の向上
Enhance the comfort of travel

歩行者中心化には賛同しつつも、車交通とのバランス(渋滞・代替動線・公共交通強化)が大きな課題

多く聞こえてきた声:

- ・バス本数が少ないなど、現在の公共交通の利便性不足への不満と将来の交通手段への不安
- ・五差路や主要交差点に関して、歩行者優先が良いが車の処理が不安
- ・渋滞や迂回路の混雑への懸念
- ・トランジットモール化について車線を残してほしいなど、自動車利用とのバランスを求める声
- ・「車社会である」という前提から、車の利用が制限される事への不安、車アクセスを完全に排除しない計画を求める声
- ・道を狭くする必要があるか?バス乗り降りに時間がかかる
- ・中央前橋へのつながりにも配慮をして欲しい
- ・環境が良く多目的なハブを。暑い夏でも待てる場所が欲しい。
- ・トランジットモールにするなら、徹底的に交通管理を
- ・五差路が歩きやすく、楽しくなりそう
- ・わかりやすい公共交通を郊外まで広げる

ひとびと_People

にぎわいのあるまち
Vibrant Community

「イベント+日常利用」を組み合わせ、継続的に人が集まる仕組みづくりが求められている

多く聞こえてきた声

- ・ストリートライブや大道芸、イベントなど日常的に人が集まる仕掛けが必要
- ・コラボレーション拠点や交流空間など、滞在活動できる場の充実への期待
- ・モデルや計画に対して「魅力的だが現実性・規模感が気になる」という意見もあり→実現性と継続性のある賑わい創出が重要
- ・単発イベントではなく、日常的なにぎわい(常設的な使い方)と目的のあるまちづくりを望む
- ・空きビル、空き家の再利用が重要課題、個人ビジネスに貸出やサポート、店舗出店支援
- ・学校の帰りの勉強や寄り道ができる場所
- ・前橋の古い町並みを生かしたまちづくりを、商店街、個人商店を大事にしたい
- ・トランジットモール開設と沿道開発は同時進行が必要

自然_Nature

質の高い緑の環境
High-quality green environment

明示的な自然要望は少ないが、快適性・景観・ゆとりある空間=環境品質向上への潜在ニーズが存在

多く聞こえてきた声

- ・都市空間の中での季節を感じ、快適性の高い、居心地の良い環境を歩きたい
- ・都市構成を考えると、建物密度や景観への配慮を考慮してほしい
- ・間接的に、人が滞在しやすい環境(=緑・空間的ゆとり)の必要性
- ・川と水路に合わせた回遊できる遊歩道
- ・多彩で多くの緑と花々、自然豊かな公園を
- ・道路空間で排気ガスの隣で空気をきれいにできる?

今後は、段階的な整備手法交通施策との整合性実現可能性の確保を踏まえた計画検討が求められる

付録資料:

Appendix:

1. まちづくりWEEKの概要

Engagement Week Overview

- + 開催目的
- + 開催形態/対象/開催日/会場

2. 広報活動資料

Outreach Summery

3. ワークショップ資料

Event Communication Materiasl

- + ステークホルダーWS/オープンハウス
- + こどもまちづくり会議
- + プロジェクト模型&パネル展示

1_まちづくりWEEKの概要

Engagement Meeting Overview

前橋クリエイティブシティまちづくりWEEK2025夏

ワークショップ全体概要

全体の目的：前橋の目指すまちづくりの地元及び関係者との情報共有と意見交換

- 前橋のこれまでのまちづくりの取り組みと第一回ワークショップからの地元住民からの声
- 前回のワークショップでの地元住民からの声を基にした、前橋リッジラインが創造する“未来の前橋”のビジョンと目的を再検証。プロジェクトの羅針盤の住民との確立、また基本設計を進めるうえで、どこに、どの様に頂いた声を反映させていっているかをシェア。
- “前橋リッジライン”計画におけるトランジットモール化に伴う交通整理、日常の使い勝手を中心に意見交換をする。

まちづくりWEEK_スケジュール

12/8(月)	12/9(火)	12/10(水)	12/13(土)	12/14(日)
ワークショップ チーム準備日	ワークショップ 会場準備 10-12PM	ステークホルダー ワークショップ 開催時間 10-11:30AM 1-2:30PM 3-4:30PM 5-6:30PM 会場 元気21_1階	ワークショップ 会場準備 8:30-10AM	地元まちづくり会議 地元住民、一般 開催時間 11-3PM 会場 元気21_1階
	ステークホルダー ワークショップ1 開催時間 1-2:30PM 3-4:30PM 会場 元気21_1階		こども まちづくり会議 開催時間 10-11:30AM 1-2:30PM 会場 元気21_1階	
	地元まちづくり会議 地元住民、一般 開催時間 5-7PM 会場 元気21_1階	ワークショップ 会場撤収 材料を5階学習室 7-8PM	地元まちづくり会議 地元住民、一般 開催時間 3-6PM 会場 元気21_1階	ワークショップ 会場撤収 3-5PM

地元まちづくり会議（オープンハウス）

テーマ1：前橋クリエイティブシティからリッジラインへ

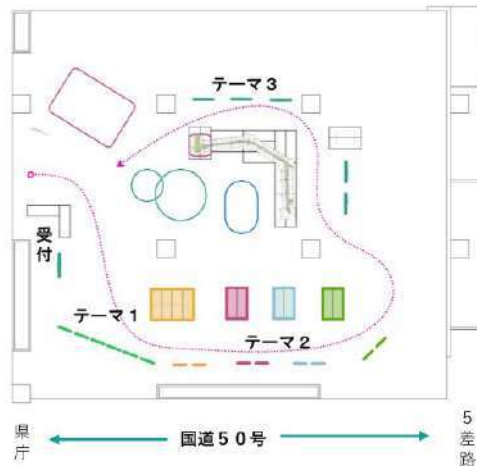
- ボード1：ようこそ前橋クリエイティブシティへ
- ボード2~3：前橋のこれまでのまちづくり
- ボード4：これまでの社会実験から
- ボード5：次世代の前橋の“まち”を創る
未来の公共交通
- ボード6「まちづくりWEEK 2025SUMMER」
参加者プロフィール

テーマ2：（仮）前橋リッジラインを創造しよう！

- ボード1：前橋リッジラインのビジョンと指針
- ボード2：“前橋らしい”から“リッジライン”らしさへ
- ボード3/4：リッジラインらしさ“にぎわい”
- ボード5/6：リッジラインらしさ“モビリティ”
- ボード7/8：リッジラインらしさ“自然”

テーマ3：（仮）前橋リッジラインであいましょう！

- ボード1：前橋停車場線（仮）「寄り道ハブ」
- ボード2：国道50号（仮）「まちなかハブ」
- ボード3：県庁前通り（仮）「緑のハブ」
- ボード4：5差路
- ボード5：県民広場



会場レイアウト：前橋プラザ元気21 - にぎわいホール

前橋クリエイティブシティまちづくりWEEK2025夏

こどもまちづくり会議概要

目的：前橋の次世代を担う子供たちへのプロジェクト周知と柔軟な発想で“自分の場所”と見つけてもらう。

日時：12月13日：第1回_10-11:30AM/第2回_1-2:30PM

会場：前橋プラザ元気21_1階、にぎわいホール

全体の流れ

午前・午後に分かれて90分ずつ『こどもワークショップ』を行う。プロジェクト説明の後、最大6人のグループに分かれて、二つのグループワークを行ってもらう。

- 5分：前橋のまちづくりについて
- 10分：前橋リッジラインプロジェクトとは
- 5分：モビリティってなに？
- 5分：楽しい場所ってなに？
- 5分：自然のちから
- 5分：質疑応答
- 20分：グループワーク1：前橋ハイポイント
- 20分：グループワーク2A（低学年）：“道で遊ぼう！”
グループワーク2B（高学年）：“ハブ”を創る
- 10分：グループワーク報告

当日は、学生ボランティアが各グループに着き、一緒にワークする。当日の参加人数にもよるが、グループワーク1と2は同時進行で、時間が来たなら入れ替わる。



“みちで遊ぼう！”（例）

2_ 広報活動資料

Outreach Summery

「まちづくりWEEK 2025 SUMMER」
ご参加ありがとうございました！



皆様からいただいた
貴重なご意見・ご提案の
結果概要をこちらから
ご覧いただけます。



まちづくり WEEK
2025 WINTER
2025 12.09 (TUE) 火 ▶ 12.14 (SUN) 日

[前橋クリエイティブシティ]
Maebashi Creative City

まちづくり WEEK

2025 WINTER

2025 12.09 (TUE) 火 ▶ 12.14 (SUN) 日

MAEBASHI RIDGELINE PROJECT BEGINS!
Let's Talk About Your Future In Maebashi!

前橋リッジライン
新たなまちづくり
未来の前橋について
一緒に話しませんか？



地元まちづくり会議(オープンハウス)2
Community Engagement Open House 2

日時: 2025年12月9日 ① 17:00-19:00 ② 2025年12月14日 ③ 11:00-15:00
2025年12月13日 ④ 15:00-18:00

会場: 前橋プラザ元気21 1階元気にぎわいホール



前橋クリエイティブシティ
Maebashi Creative City

まちづくり WEEK

2025 WINTER

こどもまちづくり会議
12月13日(土)

① 10:00~11:30 ② 13:00~14:30

会場
前橋プラザ元気21
1階にぎわいホール

「リッジラインモデル」登場
まちの未来を遊ぼう！

入場無料
事前登録あり！
前橋クリエイティブシティ
グッズももらえるよ！

「こどもまちづくり会議」
小学4年生以上対象
事前登録はコチラ！




3_ワークショップ資料

Event Communication Materials

+ テーマ:これまでそしてこれからの前橋のまちづくり@ステークホルダーWS/オープンハウス

前橋公共交通の未来

FUTURE OF THE TRANSPORTATION SYSTEM FOR MAEBASHI CITY

公共交通ネットワークの主な4つのポイント

- 1. 幹線シリアルと環線の構築**
 主要幹線とシリアルを軸とした公共交通ネットワークの構築。環線は、幹線とシリアルを結ぶ役割を果たし、ネットワークの柔軟性を高める。また、環線は、幹線とシリアルを結ぶ役割を果たし、ネットワークの柔軟性を高める。
- 2. 幹線シリアルと環線の構築**
 主要幹線とシリアルを軸とした公共交通ネットワークの構築。環線は、幹線とシリアルを結ぶ役割を果たし、ネットワークの柔軟性を高める。また、環線は、幹線とシリアルを結ぶ役割を果たし、ネットワークの柔軟性を高める。
- 3. 地域「玄関口」交通:空白地の解消**
 地域「玄関口」交通の充実。空白地の解消。地域「玄関口」交通の充実。空白地の解消。
- 4. 生活の便:駅前・駅中・駅周辺**
 生活の便の向上。駅前・駅中・駅周辺の整備。生活の便の向上。駅前・駅中・駅周辺の整備。

令和8年-12年に想定されている公共交通ネットワーク



1 Local Community Engagement Open House, Winter 2025
 地元まちづくり会議2025冬

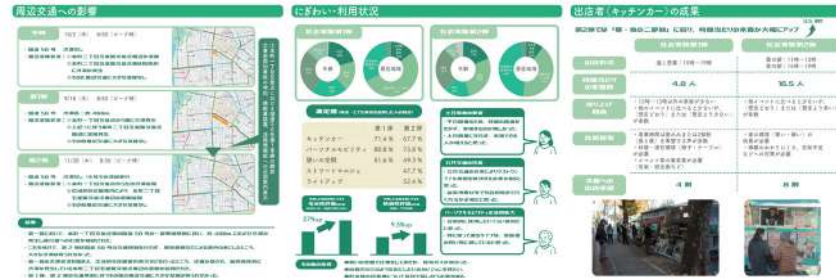
前橋クリエイティブシティ社会実験

SOCIAL EXPERIMENT FOR MAEBASHI CREATIVE CITY

社会実験の概要



主な結果と成果



1 Local Community Engagement Open House, Winter 2025
 地元まちづくり会議2025冬

ようこそ前橋クリエイティブシティへ

WELCOME THROUGH CREATIVE CITY



前橋クリエイティブシティと前橋のこれからへの一歩

A New Ideal For a New Maebashi Creative City and City's Future

前橋のまちづくりの進捗に向けた地元と市民の共創

A Collaborative Process of The Maebashi Ridge Line Project Developing with The Local Community



1 Local Community Engagement Open House, Winter 2025
 地元まちづくり会議2025冬

前橋のこれまでのまちづくり

MAEBASHI CITY'S HISTORICAL URBAN DEVELOPMENT



2 Local Community Engagement Open House, Winter 2025
 地元まちづくり会議2025冬

まちづくりWEEK2025夏概要

COMMUNITY ENGAGEMENT FOR URBAN DEVELOPMENT



5 Local Community Engagement Open House, Winter 2025
 地元まちづくり会議2025冬

3_ワークショップ資料

Event Communication Materials

+ テーマ3:前橋リッジライン計画@ステークホルダーWS/オープンハウス

本町2丁目五差路交差点

MAEBASHI RIDGE LINE PROJECT
前橋リッジライン計画

県民広場 まんもすグリーンエリア

MAEBASHI RIDGE LINE PROJECT
前橋リッジライン計画

本町2丁目五差路交差点

MAEBASHI RIDGE LINE PROJECT
前橋リッジライン計画

県民広場 まんもすグリーンエリア

MAEBASHI RIDGE LINE PROJECT
前橋リッジライン計画

県民広場 まんもすグリーンエリア

Q.新しい広場でどんなことをしたいですか?皆さんの想像をかかせてください。

	“活動”のための県民広場	“憩居”のための県民広場	“移動”のための県民広場
希望する活動・憩居・移動			
イメージスケッチ			
カードを貼ってほしいエリアをマークします。			

5 前橋リッジライン計画

本町2丁目五差路交差点

Q.新しい五差路交差点でどんなことをしたいですか?皆さんの想像をかかせてください。

	“活動”のための交差点	“憩居”のための交差点	“移動”のための交差点
希望する活動・憩居・移動			
イメージスケッチ			
カードを貼ってほしいエリアをマークします。			

4 前橋リッジライン計画

3_ワークショップ資料

Event Communication Materials

+ プロジェクト模型&パネル展示

自然と文化と人の未来を紡ぐ道、歩きたくなる街へ

TOWARD WALKABLE CITY "MAEBASHI" - Connecting Together Nature, Culture, and Community's Future

ご自身についてお聞かせください。 Please tell us about yourself

年齢: 10代 20代 30代 40代 50代 60代以上 回答なし
 性別: 男性 女性 その他 回答なし
 居住地: 計画地内 前橋市内 群馬県内 群馬県外

2040年を見つめて!
 本プロジェクトに対する
 ご意見等を、
 ぜひご記載ください!

あなたの声、 これからの前橋をつくります。

この模型は、未来の前橋の姿を描いた
 ひとつのステップです。
 「こんな場所があったらいいな」
 「ここをもっとこうしてほしい」など、
 あなたの率直な感想やアイデアを
 本用紙にご記入いただき、【意見箱】へ
 お願いします。

【記入のヒント】

- ・ 「この場所でこんな風に過ごしてみたい!」
 というワクワクするアイデア
 - ・ 「歩くときにここが気になるそう」
 というちょっとした不安やアドバイス
 - ・ 模型を見て、素直に「いいな」
 と思ったポイント など
- 本用紙にご記入いただき、【意見箱】へ
 お願いします。



Check!
 こちらのQRコードからも
 ご回答頂けます。



MAEBASHI RIDGELINE PROJECT

前橋リッジライン計画

前橋
 クリエイティブシティ
 MAEBASHI CREATIVE CITY

MOJUNT FUJII ARCHITECTS STUDIO
 SANKYO GILBERT CONSULTANTS
 前橋市 群馬県

前橋クリエイティブシティ 模型&パネル展示中 あなたの声をお聞かせください

「前橋クリエイティブシティ構想」の一環として、昨年12月に開催したワークショップの
 模型とパネルを展示しています。
 今後の計画に反映するため、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。



こちらのQRコードからも
 ご回答頂けます。

前橋クリエイティブシティ構想とは?

令和元年度に前橋市が策定した「前橋市アーバンデザイン」
 では、まちの将来像の一つとして、足元前のけやき並木通り
 を「公共交通と人中心の空間」へ再編するイメージが示され
 ました。

この並木通りは、前橋城跡の歴史を背景に官公庁が集まる県
 都の風格ある通りですが、一方で人通りは少なく、賑わいに
 欠けるという課題があります。また、GunMaaS※や自動運転
 バスなど、次世代の交通環境への対応も求められています。
 こうした背景を受け、群馬県では「前橋市アーバンデザイ
 ン」のビジョンを継承し、この通りを公共交通と人中心の
 ウォーカブルな空間へ再編し、平日だけでなく休日も人が往
 来し、多様な人々が集う場を創出する「前橋クリエイティブ
 シティ構想」を推進しています。

令和6年度には、未来志向の都市空間デザインを世界から募る
 国際コンペを実施しました。最優秀作品に選ばれた案をもと
 に、市民の皆さまの意見を取り入れながら、県都前橋の魅力
 と賑わいを高める道路空間の再編を進めていきます。

※GunMaaS：群馬県内のみ、タクシー、鉄道などの交通手段やチケットの予約・購入・
 利用をスマホでできるアプリ

展示期間	展示場所
1/5(月)~1/13(火)	群馬県庁 1F南ホール
1/19(月)~1/24(土)	まちなかサロン
2/1(日)~2/19(木)	前橋プラザ元気21 3Fホワイトエ



【お問い合わせ先】
 群馬県 県土整備部 都市整備課 都市プロジェクト推進室 事業推進係 tel: 027-226-3840 Mail: creative-city@pref.gunma.lg.jp